名称　遠江吉田港東防波堤灯台
位置
所在地　静岡県榛原郡吉田町（吉田港東防波堤外端）
北緯　三四―四四―五七
東経　一三八―一六―〇三
変更した事項
記事　本灯台の改修工事の実施に伴い、灰色のシートにより覆われている。
変更年月日　令和七年七月二十八日

名称　四日市港午起第四号灯浮標
位置
所在地　三重県四日市港第三区（四日市港東防波堤南灯台の北西方約一・二キロメートル）
北緯　三四―五七―三八
東経　一三六―三九―〇五
変更した事項
灯質　単せん赤光　毎三秒に一せん光
光度　実効光度四三カンデラ
変更年月日　令和七年七月二十八日

名称　口曽根灯浮標
位置
所在地　奈留神鼻（長崎県五島市）の南方約六七〇メートル
北緯　三二―四七―三九
東経　一二八―五六―三〇
変更した事項
変更年月日　令和七年七月二十八日
記事　一時変更
名称　東京湾中ノ瀬Ｂ灯標
位置
所在地　第二海堡灯台（千葉県富津市）の北北西方約七・九キロメートル
北緯　三五―二二―五〇
東経　一三九―四三―〇四
変更した事項
光度　実効光度三九〇カンデラ
光達距離　七・五海里
記事　附属施設　レーダー反射器
変更年月日　令和七年七月二十九日

名称　市振港北防波堤灯台
位置
所在地　新潟県糸魚川市（市振港北防波堤外端）
北緯　三六―五八―五八
東経　一三七―三九―〇六
変更した事項
灯質　単せん緑光　毎四秒に一せん光
高さ　地上から構造物の頂部まで四・九メートル
平均水面上から灯火まで一一メートル
変更年月日　令和七年七月二十九日

名称　宇登呂灯台
位置
所在地　北海道斜里郡斜里町（宇登呂）
北緯　四四―〇五―五二
東経　一四五―〇〇―五五
変更した事項
灯質　単せん白光　毎一五秒に一せん光
変更年月日　令和七年七月三十日
記事　一時記事変更中のところ灯質変更のうえ復旧

名称　船川赤根南方灯浮標
位置
所在地　鵜ノ埼灯台（秋田県男鹿市）の南方約二・八キロメートル
北緯　三九―五〇―四六
東経　一三九―五〇―五九
変更した事項
灯質　群急せん白光　毎一五秒に六急せん光と一長せん光
変更年月日　令和七年七月三十一日
記事　一時頭標脱落中のところ灯質変更のうえ復旧

名称　千葉港コスモ石油第二シーバース灯
位置
所在地　千葉県千葉港千葉区（千葉灯標の南西方約五・七キロメートル）
北緯　三五―三一―四八
東経　一四〇―〇〇―一二
変更した事項
記事　一　附属施設
(一)　電気ホーン　一個
イ　吹鳴周期　毎二五秒をへだて五秒間吹鳴
ロ　設置場所　本灯の下部
(二)　レーダー反射器
二　コスモ石油株式会社千葉製油所管理
変更年月日　令和七年七月三十一日
記事　一時休止中のところ記事変更のうえ復旧

名称　一切港第二防波堤灯台
位置
所在地　高知県幡多郡大月町（一切港第二防波堤外端）
北緯　三二―四七―〇三
東経　一三二―三八―二四
変更した事項
位置
所在地　高知県幡多郡大月町（一切港第二防波堤外端）
北緯　三二―四七―〇四
東経　一三二―三八―二七
記事　補正

名称　宇佐港港口第二防波堤東灯台
位置
所在地　高知県宇佐港（港口第二防波堤東端）
北緯　三三―二六―三七
東経　一三三―二七―一九
変更した事項
位置
所在地　高知県宇佐港（港口第二防波堤東端）
北緯　三三―二六―三九
東経　一三三―二七―一七
記事　補正

名称　住吉港東防波堤灯台
位置
所在地　高知県香南市（住吉漁港東防波堤外端）
北緯　三三―三〇―五八
東経　一三三―四五―五七
変更した事項
位置
所在地　高知県香南市（住吉漁港東防波堤外端）
北緯　三三―三〇―五九
東経　一三三―四五―五四
記事　補正

名称　手結港外港第一防波堤灯台
位置
所在地　高知県香南市（手結港外港第一防波堤外端）
北緯　三三―三一―三八
東経　一三三―四五―〇六
変更した事項
位置
所在地　高知県香南市（手結港外港第一防波堤外端）
北緯　三三―三一―四一
東経　一三三―四五―〇〇
記事　補正

名称　安田港東防波堤灯台
位置
所在地　高知県安芸郡安田町（安田港東防波堤外端）
北緯　三三―二六―四〇
東経　一三三―五七―一七
変更した事項
位置
所在地　高知県安芸郡安田町（安田港東防波堤外端）
北緯　三三―二六―四三
東経　一三三―五七―一七
記事　補正